【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公開番号】特開2001-160261(P2001-160261A)
【公開日】平成13年6月12日(2001.6.12)
【出願番号】特願平11-342080
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
Ｇ１０Ｌ　19/02　(2006.01)
Ｇ１０Ｌ　19/00　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　27/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　20/10　Ｇ
Ｇ１０Ｌ　7/04　Ｇ
Ｇ１０Ｌ　9/18　Ｊ
Ｇ１１Ｂ　27/02　Ｋ
Ｇ１１Ｂ　27/02　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月14日(2006.3.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とを記録媒体に記録するディジタル信号記録装置において、
主情報内の所望の部分の少なくとも一端をフェード処理することによって得られる情報を、記録体に記録するようにしたことを特徴とするディジタル信号記録装置。
【請求項２】　ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とを記録媒体に記録するディジタル信号記録装置において、
主情報内の所望の部分を指定する情報パラメータを前記関連情報内に有し、上記情報パラメータを参照して、上記所望の部分の少なくとも一端をフェード処理することによって得られる情報を、記録媒体に記録するようにしたことを特徴とするディジタル信号記録装置。
【請求項３】　請求項１または２において、
上記所望の部分の両端をフェード処理することを特徴とするディジタル信号記録装置。
【請求項４】　請求項１または２において、
上記ディジタルオーディオ信号は、
複数の楽曲に係るものであることを特徴とするディジタル信号記録装置。
【請求項５】　請求項１または２において、
正規化処理を含む圧縮符号化を行うことによって上記情報圧縮を行い、
上記正規化処理の結果としての正規化情報を調整することによって、上記フェード処理を施すことを特徴とするディジタル信号記録装置。
【請求項６】　請求項１または２において、
上記主情報、および上記関連情報は、楽曲データ提供事業者によって作成されることを特徴とするディジタル信号記録装置。
【請求項７】　請求項６において、

上記楽曲データ提供事業者から提供される上記主情報、および上記関連情報を蓄積するデータ蓄積用記録媒体を有することを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項８】　請求項７において、

上記データ蓄積用記録媒体は、

ハードディスクであることを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項９】　請求項１または２において、

上記関連情報は、

上記フェード処理に係る処理条件を含むことを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項１０】　請求項９において、

上記処理条件を入力する入力手段をさらに有し、

上記入力手段を介して入力された上記処理条件に従って上記関連情報が書き換えられることを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項１１】　請求項９において、

上記処理条件は、楽曲データ提供事業者によって設定され、

設定された上記処理条件に従って作成された上記関連情報を、上記主情報、と共に上記楽曲データ提供事業者から受取ることを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項１２】　請求項９において、

上記処理条件は、

上記フェード処理が施されるべき上記主情報内の位置を示すパラメータを含むことを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項１３】　請求項９において、

上記処理条件は、

上記フェード処理に係るフェード時間を示すパラメータを含むことを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項１４】　請求項９において、

上記処理条件は、

上記フェード処理に係るフェード形状を示すパラメータを含むことを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項１５】　請求項１または２において、

上記記録媒体は、

ＭＤであることを特徴とするディジタル信号記録装置。

【請求項１６】　ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とを記録媒体に記録するディジタル信号記録方法において、

主情報内の所望部分についてフェード処理を施すことによって得られる情報を、関連情報と共にユーザに対するデータ提供に供する記録媒体に記録するようにしたことを特徴とするディジタル信号記録方法。

【請求項１７】　ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とを記録媒体に記録するディジタル信号記録方法において、

主情報内の所望の部分を指定する情報パラメータを関連情報内に有し、上記情報パラメータを参照して、上記所望の部分の少なくとも一端をフェード処理することによって得られる情報を、記録媒体に記録するようにしたことを特徴とするディジタル信号記録方法。

【請求項１８】　ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とが記録された記録媒体において、

主情報内の所望部分についてフェード処理を施すことによって得られる情報が関連情報と共に記録されたことを特徴とする記録媒体。

【請求項１９】　ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とが記録された記録媒体において、

主情報内の所望の部分を指定する情報パラメータを関連情報内に有し、上記情報パラメータを参照して、上記所望の部分の少なくとも一端をフェード処理することによって得られる情報が記録されたことを特徴とする記録媒体。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
【課題を解決するための手段】
請求項１の発明は、ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とを記録媒体に記録するディジタル信号記録装置において、
主情報内の所望の部分の少なくとも一端をフェード処理することによって得られる情報を、記録体に記録するようにしたことを特徴とするディジタル信号記録装置である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項２の発明は、ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とを記録媒体に記録するディジタル信号記録装置において、
主情報内の所望の部分を指定する情報パラメータを前記関連情報内に有し、情報パラメータを参照して、所望の部分の少なくとも一端をフェード処理することによって得られる情報を、記録媒体に記録するようにしたことを特徴とするディジタル信号記録装置である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項１６の発明は、ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とを記録媒体に記録するディジタル信号記録方法において、
主情報内の所望部分についてフェード処理を施すことによって得られる情報を、関連情報と共にユーザに対するデータ提供に供する記録媒体に記録するようにしたことを特徴とするディジタル信号記録方法である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項１７の発明は、ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とを記録媒体に記録するディジタル信号記録方法において、
主情報内の所望の部分を指定する情報パラメータを関連情報内に有し、情報パラメータを参照して、所望の部分の少なくとも一端をフェード処理することによって得られる情報を、記録媒体に記録するようにしたことを特徴とするディジタル信号記録方法である。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１３】
請求項１８の発明は、ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とが記録された記録媒体において、
主情報内の所望部分についてフェード処理を施すことによって得られる情報が関連情報と共に記録されたことを特徴とする記録媒体である。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
請求項１９の発明は、ディジタルオーディオ信号を情報圧縮してなる主情報と、前記主情報に関連する関連情報とが記録された記録媒体において、
主情報内の所望の部分を指定する情報パラメータを関連情報内に有し、情報パラメータを参照して、所望の部分の少なくとも一端をフェード処理することによって得られる情報が記録されたことを特徴とする記録媒体である。